

いのちを輝かせて

岡崎文化協会

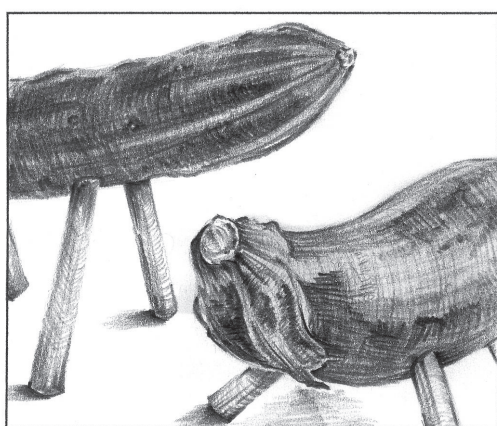
会長 柏木 典子 氏



教育随想

四月初め、清掃の時間のこと。一年生が床へ箒^{ほうき}を斜めに構え、向こうへ押してゴミを集めていました。しかも大真面目に。と、その時、「お、埃が立たない掃除ができているな」と担任の先生の声。「それ、使い方が違うぞ」と頭から否定しないで、「箒は、こーやって掃くと、もっときれいになるぞ。」と一緒に掃除をされていました。児童は、母親が掃除機をかける姿しか見ていなかったのでしょう。庭訓^{ていきん}、まさに背中を見て育つとは、母親として家庭での在り方の大切さを思い、身の引き締まる思いがしました。

その先生には、入学式の日にもエピソードが。式後、教室に戻り、先生がお話していると、男子児童が椅子の上に立ったかと思ったら、おでこの前に手をかざし、周りを見渡し始めたのです。先生は、「お、見晴らしがいいか？小学校では、体育という授業があるから、今度、みんなでやってみよう」と。すると、児童は素直に座ったのです。興味をもたせ、心をつぶさない声掛けに感謝しました。



理科の先生であり、生活科の授業では大根を育て、その授業の初めには必ず、「手のひらを太陽に」を歌って、とても楽しそうでした。♪僕らはみんな生きている。生きているから歌うんだ♪やなせたかしの世界です。いよいよ、研究授業の当日、子供たちは、いつもにも増して大声で、♪僕らはみんな死んでいる♪と歌い出したのです。先生は、苦笑い。でもこれ以上ない元気に楽しそうに



令和8年8月1日

8月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
岡崎文化協会
会長 柏木 典子 氏
- この人に聞く…………… 2
おかざき傾聴の会
前代表 畔柳 秀樹 氏
- 羅針盤…………… 2
矢作北小学校
校長 細井 鶴貴
- ふれあい…………… 3
城南小学校
教諭 石川沙絵子
- 特集…………… 4
岡崎産がいっぱい！
～岡崎の農林業と教育～
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー…………… 8
わたしたちの学校のプール(昭和50年)
- この本を…………… 8



話し手が主人公

おかざき傾聴の会 前代表

畔柳 秀樹 氏

おかざき傾聴の会は、デイサービスへの訪問やおはなしカフェなどの活動に取り組んでいる四十名ほどのボランティア団体である。令和六年度には継続的な活動が認められ、全国社会福祉大会で厚生労働大臣表彰を受賞した。当時の代表を務めていた畔柳さんにお話を伺った。

―傾聴の大切さを考えたきっかけを教えてください―

傾聴の大切さを考えるきっかけになったのは、会社員だった頃の社内研修でした。リーダーシップやコミュニケーションなど、さまざまなテーマの中で、どの講師も、傾聴の大切さについて話していました。

この学びでメンバーや顧客の意見をきちんと聴く大切さを実感し、定年後も傾聴について学んだことを生

かしたいと考えるようになりました。―傾聴の意味と、傾聴において大切にしていることを教えてください―

傾聴とは、自分の耳と心と目で、相手の話を否定せず、ありのままに受け止め、相手の気持ちに寄り添いながら一生懸命に話を聴くことです。大切なことは、受容と共感です。

会話は話し手が主人公です。結論を急いで無理に話をまとめたり、早く話を終わらせたりしようとすると、こちらの態度がぞんざいになり相手にも伝わります。短い時間の中でも、今はこの人の話をしっかり聴くという意識を、おかざき傾聴の会では「傾聴モード」と呼んでいます。気持ち切り替えて相手の話をきちんと聴くことを心がけることで、よい人間関係を築くことができると思います。にやかな表情で相づちを打ちながら話を聴くことも大切にしています。

―活動内容を教えてください―

おかざき傾聴の会では、主に三つの活動を行っています。

一つ目は、月に一回の定例会です。定例会では、話し手と聞き手と観察者の三人一組でロールプレイングをしたり、介護施設や市職員の方による出前講座を受講したりします。話を聴くだけではないので、さまざまな話題に対応できるように、知識を吸収するようにしています。

二つ目は、デイサービスなどへの施設訪問です。現在、十五か所の施設を回っています。

三つ目は、「おはなしカフェ」です。さまざまな年代の方を対象に気軽に会話を始める場を作りたく、この活動を始めました。岡崎市内にある「珈琲を楽しむ会」の協力を得たことで、おいしい珈琲もいただける、より親しみやすい空間となりました。

―やりがいや原動力は何ですか―

デイサービスを訪問した時、利用者の女性が「お父さん、お父さん」と言っていて私の手を握ってくるのです。こんな時は「ああ、この人は旦那さんに会いたかったんだな」と思うようにしています。短い時間でも相手の気持ちに寄り添うことで、人の役に立てたと実感できます。そして、別れ際の「ありがとう」「また来てね」という利用者の方の声が活動の原動力となっています。また、人のためにより話し相手になろうという思いを共有する、「おかざき傾聴の会」のメンバーの存在が支えとなって、活動を続けることができています。

―今後の展望を教えてください―

「おかざき傾聴の会」が長く存続し、より多くの人に関心をもってもらいたいと考えています。また、普段は大人向けに活動しているのですが、子供向けにできることも考えていきたいと思っています。



氏名 くらやなぎ ひでき
生年月日 昭和二十九年七月三日
住所 岡崎市明大寺町



「わかる」授業から「大好き」へ

矢作北小学校

校長 細井 鶴貴

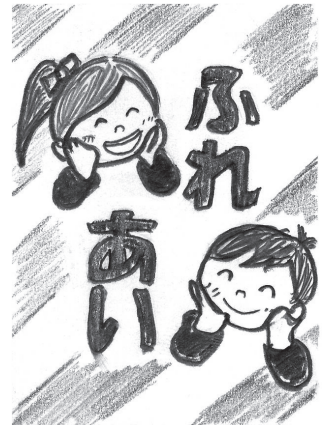
「大好き」いっぱい チーム矢北」

四月一日、職員への第一声は今年もここから始まった。校長になって以来、私はこのスローガンを掲げ続けていく。

「大好き」にあふれる人生は、人を前向きにし、豊かにする。「大好き」の中には、子供一人一人の将来や生き方につながる芽が必ずある。目の前の子供たちに、それを一つでも多く見つけてほしいと願う。

次期学習指導要領の論点整理では、資質・能力を育むことの一層の具体化・進化を図ることが示されると同時に、「好き」を育み、「得意」を伸ばす」の文言も記された。「好き」の記載に私は背中を押された。

この「好き」を授業の中で育むためには、「わかる・できる」授業の実現が不可欠である。子供は「小さな好き（興味・関心）」を刺激され、そ



二人でつくる時間

城南小学校

教諭 石川 沙絵子

「作りたいものがあるんだけど。」

この言葉からAさんとの時間が始まる。Aさんが二年生のときと四年生のとき、私が担任を受けもった。私とAさんには、ものづくりが好きという共通点があった。

Aさんとの出会いは、Aさんが二年生の頃。なかなか教室に入らなかったAさん。「教室に入ってみようか」と声をかけても、Aさんは首を横に振ることが多かった。日頃から子供たちの関係づくりのため、私は折り紙を活用していた。手先が器用なAさんなら楽しめると思い、教室の外にいるAさんに声をかけた。

「折り紙やるけど、どうかな。」

すると、Aさんは少し考えてから、「折り紙ならやってみる」と言って、教室に入ってきた。同じ机で折り紙を折りながら、「折り紙を折るのは好

きかな」と話しかけた。

「家でよく作るから飽きたけどね。みんなとやるのは、まあまあかな。」

Aさんは少し照れたような表情を見せた。その何気ないやり取りが、Aさんとの最初の時間になった。

ものづくりの時間は、Aさんが少しずつ自分のことを話してくれる、私にとって大切な時間になっていった。作品を手にして、「図工が好き」

「絵をかくのが好きだよ」と語るAさんの言葉に、私は耳を傾け続けた。

やがて、四年生になったAさんに、

「今年は何を作ろうか」と尋ねた。

「工作は家でもできるから、家ではできない料理がしたいな。」

はつきりとした口調で自分の思いを話すAさんの姿に成長を感じた。

「次はこれ混ぜていいの。」

「いいよ。そつとね。ところで、春休みはどこか行くの。」

「春休みは、沖縄に行くんだって。先生は行ったことあるの。」

「あるよ。海が本当に青いよ。」

「飛行機に乗るのは初めてなんだ。怖いのかな。」

一緒に料理をしながら交わす何気ない会話の中で、Aさんの表情はどんどん和らいでいった。何かを一緒に作る時間は、私とAさんの距離も縮めてくれたように感じた。

五年生に進級した後、Aさんはふらっと私のいる教室に顔を出した。「運動会のリレーはバトンパスをミ

スしそうでやりたくないな。」

「今度、友達と練習しようか。」

「でも、自分から誘えないよ。」

「先生も一緒に声をかけてみるよ。」

Aさんとの時間は、Aさんが安心して、思いに寄り添い、気持ちを受け止める時間となっていた。

「作りたいものがあるんだけど。」

六年生になったAさんが、いつものように私の教室を訪ねてきた。

「何を作りたいの。」

「作りたいものもあるんだけど、ねえ、先生は修学旅行どう思う。」

「修学旅行のことが、心配かな。」

「違う違う。すごく楽しみにしているの。寝るときとか、鹿に餌をあげることとか。あと何するのかな。」

Aさんは次々に思いを語った。その明るい表情を見ながら、これまでの時間が思い浮かんできた。

Aさんが安心して自分を表現できる時間を、これからも大切にしたい。



れを自ら膨らませる。そして教師の適切な支援によって、「わかった」できた」という喜びや楽しさを実感していく。「またやってみたい」「次は別の方法を試したい」といった探究や挑戦が持続し、主体的に学び続けるようになる。やがて、学ぶことそのものを「大好き」になっていく。

音楽科の「音楽づくり」の授業。チームでの活動が行き詰まっていた。教師が「どうしようか」と声をかけても、沈黙が続く。そこで教師が「こだけもう一回合わせてみよう」と投げかけると、「私、聴き役になる」と児童Bが続ける。実際に音を出してみると、「ここの出だしが合わない」と気付く子供たち。すると児童Cが、拍を感じやすいように指揮をすることを思いつく。出だしが揃うと、子供たちの表情が一気に明るくなる。

教師の出によって子供の気付きが生まれ、解決への糸口をつかむ。実際に音を出し、その音を聴いて判断する方法のよさがわかった子供たちは、その後も互いに聴き合いながら、音楽づくりに没頭した。

授業の中で、子供が腑に落ちる瞬間を大切にしたい。それは子供が「わかる」を実感するときだからだ。そのための支援の在り方を、私たちは教育のプロとして常に研究していく必要がある。



▲林業体験(豊富小学校)

温暖な気候で、豊かな自然に恵まれた岡崎市では、農業が盛んに行われている。市内には直売施設や、産地直送の商品を取り扱っている小売店も多く、「岡崎産」の商品は誰でも気軽に手に入れることができる。

現在、岡崎市では、「ぬかたのミネアサヒ」や「岡崎おうはん」等、八品目を「地域ブランド推進品目」に指定している。これらの商品は、市内にとどまらず、市外でも見かける機会が増えてきた。さらに、四十品目を「産地ブランド推進品目」に指定し、「岡崎産」であることを積極的にPRしている。この取組は、岡崎で生産される農林産物の品質向上や、市場や消費者から信頼される産品となること、農林業の活性化を図ること等を目的としている。ここ岡崎市には、強い思いをもって農林業に携わる人々がたくさんいる。

学校現場においては、社会科、生活科、総合的な学習の時間を中心に、地域の農林業と関わる機会がある。また、キャリア教育の一環として、職場体験学習の受け入れを行う農家もある。実際に作業を体験することで、子供たちは働くことの大変さや尊さを実感する。さらに、生産する方たちと直接ふれあうことで、その思いや工夫に触れ、学びに現実感が生まれる。その経験は深い学びとなり、職業選択の幅を広げることにもつながる。場合によっては、後継者不足等、地域が抱える課題解決につながる可能性もある。

地産地消や地域の農林業を支える方法は商品を購入するだけではない。学校教育と地域の農林業が連携することで、双方にとって価値ある関係を築くことができる。

生きる力を育むことにつながる、生きた教材は、私たちの身近なところにある。



▲いちご

【いちごの豆知識】

県内トップクラスの生産量を誇る。岡崎市のいちごの歴史は古く、昭和20年代頃から栽培されるようになった。30年代頃には本格的なハウス栽培が行われるようになった。現在では、矢作・六ツ美・葵・東部地域で栽培されている。



▲ぶどう



▲岡崎おうはん

産地ブランド推進品目(40品目) ※2026年7月1日現在

- | | | | |
|-------|-------|-------|---------|
| ・米 | ・麦 | ・大豆 | ・さつまいも |
| ・いちご | ・かぼちゃ | ・きゅうり | ・ブルーベリー |
| ・玉ねぎ | ・ねぎ | ・自然薯 | ・ほうれん草 |
| ・にんじん | ・いちじく | ・柿 | ・くり |
| ・ぶどう | ・なす | ・ゆず | ・植木 |
| ・切花 | ・干両 | ・鉢物 | ・茶 |
| ・木材 | ・漆 | ・竹 | ・楮(こうぞ) |
| ・牛乳 | ・牛肉 | ・豚肉 | ・鶏卵 |
| ・鶏肉 | ・蜂蜜 | ・きのこ | ・山菜 |
| ・わさび | ・鮎 | ・里いも | ・しめ縄 |

地域ブランド推進品目(8品目) ※2026年7月1日現在

- | | |
|------------|-----------|
| ・藤川宿むらさき麦 | ・大門のしめ縄 |
| ・法性寺ねぎ | ・岡崎おうはん |
| ・ぬかたのミネアサヒ | ・岡崎竹千代ポーク |
| ・純岡崎産ワイン | ・岡崎のぶどう |

小学校での取組



▲法性寺ねぎの栽培(六ツ美西部小学校)

法性寺ねぎ



▲むらさき麦の収穫(藤川小学校)

むらさき麦



▲収穫のお手伝い(豊富小学校)

ミネアサヒ



▲お茶摘み会(宮崎小学校)

宮崎茶

見学体験



▲いちごハウスの見学(矢作南小学校)

いちご



▲しめ縄づくり(大門小学校)

しめ縄

製作体験

中学校での取組

キャリア教育



▲職場体験学習(竜海中学校)

ぶどう

地域交流



▲岡崎おうはんのPR(六ツ美北中学校)

岡崎おうはん



●現職研修委員会の活動

◆おかざきツズ プログラミング フェスタ2026

子供たちがプログラミングを通じて創造力や論理的思考力を育むことができるイベントです。今年度は、「レゴSPIKEで遊んでみよう!」「プログラミングゲームに挑戦だ!Scot tieと宇宙へ」「3Dモデリングでネームプレートを作ろう!」等、八つの講座があります。また、プレゼンコンテストやタイピングコンテストも同時開催されます。

○日時 令和八年八月五日(水) 十時～十五時三十分

○場所 総合学習センター
※応募期間は終了しています

◆第五十二回生徒市議会
〈学習情報部〉

中学校二十校の代表生徒が、実際に市政が行われている市議会議場で、市議会の運営を学びます。今年度は、経済振興部や総合政策部等、

十四の部局に提案を予定しています。

○日時 令和八年八月七日(金) 十時～十二時

○場所 岡崎市議会議場

〈特別活動部〉

◆令和八年度「チャレンジマ イアート」

臨床美術(クリニカルアート)を行います。臨床美術とは、絵などの作品作りを楽しむながら行うことで、達成感を味わったり、周りの人から認めてもらったりして、心を軽くする活動のことです。今年度は、粘土やアルミ、花紙等を使い、立体的な「彩りうさぎ」を制作します。

○日時 令和八年八月二十日(木) 九時三十分～十二時

○場所 総合学習センター 研修室一・二

※応募期間は終了しています

◆令和八年度岡崎市教育研究大会

多くの先生が自身の授業実践をリポートにまとめ、発表する教育研究大会は、教師としての力量向上を図る場として、非常に大きな価値をもちます。共通のテーマ「自立的・協働的に学びを深め 未来を切り拓く力を育む授業デザイン」の下、教育について語り合い、よりよい教育実践を目指す、質の高い学びの場となることを期待しています。

○日時 令和八年八月二十二日(土) 十三時～十六時三十分

○場所 総合学習センター
※応募期間は終了しています



●教育委員会主催の活動

◆O K I E Festa 2026

〈教育研究部〉

小中学生がALTと楽しく活動し、英語力アップを目指すイベントです。今年度は、「ボッチャ体験&応援フラッグづくり」、ブースを回って世界の国のスポーツや歴史を知る「ワールドツアー」、「出入国体験」、ALTや仲間と協力してミッションをクリアする「アジパラ☆クエスト」の四つの活動を予定しています。

○日時 令和八年八月二十八日(金) 十三時四十五分～十六時十五分

○場所 総合学習センター他 市内各所

●表彰

◆第72回全日本中学校通信陸上競技大会 A I C H I

○男子800m

日本中学新記録樹立

六ツ美北中 柵木 快心

○女子走高跳

1位 甲山中 森田 あお

○男子走高跳

1位 新香山中 深見 泉嘉

○男子1500m

1位 六ツ美北中 柵木 快心

○女子走幅跳

2位 甲山中 近藤 彩

○女子1500m

2位 美川中 柴田 和佳

○男子400m

2位 常磐中 今井 奏太

○男子走高跳

3位 六ツ美北中 市川 湊

○男子円盤投

3位 翔南中 平松 稜也

◆第29回愛知県中学校選抜混成競技大会

○男子四種競技

3位 福岡中 笠井 隆翔

◆第84回全日本学生児童発明くふう展

奨励賞 竜海中 鈴木 航平

◆第43回NHK杯全国中学校放送コンテスト愛知県大会

○ラジオ番組部門

優秀 竜海中 パソコン部

●教育図書室

教育研究所内にある教育図書室は、八千三百冊以上の教育図書を蔵書しています。また、学習指導案や学会会脚本、運動会DVDなども、毎年、新しいものが追加されています。積極的に活用し、日々の教育活動に生かしてください。

・所在地 総合学習センター(三階)

・休館日 日曜日・月曜日・祝日

(月曜日が休日の場合は、火曜日も休館)

・開館時間

午前九時～午後七時

(土曜日は午後五時まで)

・図書の貸出方法

①受付で「利用者届出書」を記入し、個人登録する。

②図書を選ぶ(五冊まで)。

③二週間以内に返却する。

・検索と印刷方法

①教育図書室にあるパソコンで検索し、閲覧する。

②資料の「分類番号」を受付に伝え、印刷してもらう。

蔵書は教職員ポータルサイ

ト内リンクから検索可能です。

令和8年度 第1回岡崎市中学生体育大会FINAL CUP
兼 西三河中学校選手権大会岡崎支所予選会 最終結果

団体結果

種 目	性	優 勝	2 位	3 位
陸 上 競 技	男	岡崎SOUTH	岡崎葵城	岡崎MUTSUMI
	女	岡崎SOUTH	岡崎NORTH	岡崎CENTRAL
バスケットボール	男	岡崎MUTSUMI	岡崎WEST A	岡崎CENTRAL 岡崎葵城 A
	女	岡崎竜美 A	岡崎MUTSUMI A	岡崎NORTH A 岡崎SOUTH A
バレーボール	男	岡崎竜美	岡崎NORTH A	岡崎MUTSUMI 岡崎CENTRAL
	女	岡崎CENTRAL A	岡崎WEST A	岡崎葵城 A 岡崎竜美 A
ソフトテニス	男	岡崎EAST	岡崎WEST	岡崎NORTH 岡崎SOUTH
	女	岡崎WEST	岡崎竜美	岡崎SOUTH 岡崎EAST
卓 球	男	岡崎WEST A	岡崎MUTSUMI A	岡崎WEST B 岡崎SOUTH A
	女	岡崎WEST A	岡崎MUTSUMI A	岡崎SOUTH A 岡崎WEST B
剣 道	男	岡崎WEST A	岡崎SOUTH A	岡崎MUTSUMI A 岡崎竜美 A
	女	岡崎WEST A	岡崎WEST B	岡崎竜美 A 岡崎EAST
ハンドボール	男	岡崎CENTRAL	岡崎SOUTH	岡崎WEST
軟 式 野 球		岡崎EAST A	岡崎CENTRAL	岡崎竜美 A 岡崎WEST A
ソフトボール	女	岡崎NORTH		
柔 道	男	岡崎WEST		
	女	団体戦は実施しない。		
サ ッ カ ー		岡崎SOUTH A	岡崎竜美 A	岡崎EAST 岡崎WEST
弓 道	男	岡崎 I C	岡崎 I A	岡崎 I B
	女	岡崎 I C	岡崎 I B	岡崎 II C

陸上競技

	種 目	氏 名	チ ー ム 名	記 録
男 子	100m	蛭川 結稀	岡崎葵城	11" 50
	200m	今井 奏太	岡崎CENTRAL	23" 62
	400m	中村 流快	岡崎NORTH	52" 14
	800m	杉山 喜一	岡崎SOUTH	2' 08" 09
	1500m	藤井 大地	岡崎NORTH	4' 24" 33
	3000m	柵木 壱心	岡崎MUTSUMI	9' 30" 15
	110mH	小嶋 永音	岡崎MUTSUMI	15" 68
	4 × 100mR	深見・藤井 中村峻・中村流	岡崎NORTH	44" 61
	走高跳	市川 湊	岡崎MUTSUMI	1m80
	走幅跳	深見 泉嘉	岡崎NORTH	5m96
女 子	砲丸投	林 琉恩	岡崎葵城	11m17
	100m	神田ひなた	岡崎CENTRAL	12" 85
	200m	増田陽茉莉	岡崎SOUTH	27" 16
	800m	白石 絆那	岡崎NORTH	2' 19" 81
	1500m	柴田 和佳	岡崎竜美	新 4' 35" 51
	100mH	山崎 璃海	岡崎葵城	15" 54
	4 × 100mR	青山・米本 木下・増田	岡崎SOUTH	51" 20
	走高跳	森田 あお	岡崎CENTRAL	1m55
	走幅跳	近藤 彩	岡崎CENTRAL	5m07
	砲丸投	加藤 莉穂	岡崎WEST	9m31

新…大会新記録

個人競技(1位のみ)

種 目	性	氏 名	チ ー ム 名
弓 道	男	青山 竜己	岡崎 I B
	女	荻野宇瑠波	岡崎 I B
ソフトテニス	男	片山勝・天野	岡崎EAST
	女	太田さ・太田未	岡崎WEST
卓 球	男	岡本 好佑	岡崎WEST
	女	小堀 栞奈	岡崎SOUTH
剣 道	男	小谷 佑遅	岡崎WEST
	女	森田 玲莉	岡崎WEST

柔道

男子階級	氏 名	チ ー ム 名	女子階級	氏 名	チ ー ム 名
50kg級	小笠原 新	岡崎WEST	40kg級	久世 美咲	岡崎ALL
55kg級	清水 結叶	岡崎WEST	44kg級	菅 心渚津	岡崎ALL
60kg級	中村 優聖	岡崎WEST	48kg級	高山さくら	岡崎ALL
66kg級	田中 瑛大	岡崎WEST	52kg級	杵名 美来	岡崎ALL
73kg級	鈴木 健心	岡崎EAST	57kg級	竹本 華乃	岡崎ALL
81kg級	白井 啓太	岡崎WEST	63kg級	西村 凜	岡崎ALL
90kg級	太田 匠政	岡崎WEST	70kg級	郷 雨辰	附属
90kg超級			70kg超級		

教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

相談窓口	電話番号	相談受付日時	あいちこころのサポート相談(SNS)
岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30	LINE 友だち追加・ID検索 @aichi_soudan 
あいちこころのサポート相談(SNS)	右QRコード	月曜日～土曜日 20:00～24:00 日曜日 20:00～翌月曜日 8:00	
愛知県総合教育センター教育相談	0564-83-9743	月曜日～金曜日 9:00～17:00	
あいちこころのホットライン 365	052-951-2881	年中無休 9:00～20:30	
愛知いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間	

・カ
ッ
ト
矢
作
中
松
木
大
悟

わたしたちの学校のプール (昭和50年)

写真提供：六ツ美中部小学校

昭和四十六年、六ツ美中部小学校に待望のプールが建設された。この写真は、そのプールで、児童が互いに補助をしながら、水泳の授業に取り組んでいる様子である。本校にプールが建設される以前は、隣接する六ツ美中学校のプールを借りていたため制限も多かった。そこで、学区のプール建設協力会の支援や、地域からの寄付により、自校のプール建設が実現した。そして現在も、プールを大切にしようという思いから、地域や保護者の方が清掃を手伝っている。近年、岡崎市では民間プールの活用が進められている。水泳学習の在り方は時代とともに変化していく。それでも、子供たちが水に親しみ、プールから歓声が響く光景は、これからも変わることはないだろう。



遠い空に浮かぶ入道雲が、季節の盛りを物語る。家族や友達との時間、お祭り等の地域の行事など、子供たちには、この特別な時間を、存分に味わってほしいと願う。子供たちはきっと、それぞれの夏を楽しんでいることであろう。夏休みが明け、一回り成長した子供たちに会える日を楽しみに、我々も準備を進めたい。

ど ホ

葉 目

ッ



▲夏祭り (城南小)

通学してくる子供たちの様子を見ると、自然と気持ちが前向きになる。「話し手が主人公である」という畔柳氏の言葉を胸に、今日も子供たち一人ひとりと丁寧に向き合おうと心に決める。子供たちが自分らしく一日を過ごし、明日も学校に来たいと思えるよう、その声に耳を傾け、温かな関係を築いていきたい。



*怒っている子どもはほんとうは悲しい
「感情リテラシー」をはぐくむ

渡辺 弥生
¥980

光文社書店

心に残った一文

子どもたちは、日常生活の中で、じつは大人以上に、自分の「気持ち」に振り回されながら生きています。

子供たちは、日々、周囲からの刺激を受け、そのときどきの感情とともに生きている。その中で、私たちは、感情を抑えることや我慢することを教えがちである。しかし、外からの力で抑え込んでしまうことは、「人間らしさ」を奪うことにならないだろうか。

感情についての基本的な力を育む「感情リテラシー」は、生きるための技術そのものの、人生の土台となる力であると筆者は説く。自分の感情とどう向き合うか。衝動に吞み込まれないためにどうするか。感情を抑えるのではなく、この内なる力を培うことが求められている。

*A1に書けない文章を書く 前田 安正
筑摩書房 ¥860

*『100万回生きたねこ』のナゾを解く 宮崎 哲弥
筑摩書房 ¥1,600

*一年一組 せんせい あのね 鹿島 和夫
理論社 ¥1,500
男川小学校 小田 幸子